

読	暮	や
本	ら	ま
山都町 やまとちょう 熊本県	し	と



山都で見つけた
幸せのカタチ



【発行】 山都町役場
〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6番地
TEL 0967-72-1111 FAX 0967-72-1080
E-mail yamatokurashi@town.kumamoto-yamato.lg.jp

【発行日】 2016年10月

※本誌掲載の写真・文章等の無断転載を禁じます。

阿蘇山麓のまち



山都町

YAMATO-CHO
KUMAMOTO/JPN



Part 1 移住者インタビュー

山の都は、何といても 住めば都です。

Contents

Part 1 移住者インタビュー



移住して、5年

「想い」を胸に
音楽と有機野菜を
奏でています。

I 鳥越 靖基さん 3
岸 千恵さん



移住して、10年

山の景色が、幸せを
導いてくれました。

II 石井 陽子さん 5

Part 2 「山の都」って、どんなところ？

山都町はどんな町？（風土・環境）	7
山都町はどこにある？（アクセス）	8
山都町の医療環境（医療機関の紹介）	9
山都町の子育て環境	10
山都町の小・中学校	11
山都町の高校「矢部高等学校」	12

Part 3 「山の都」を、もっと知りたい！

山の都地域しごとセンター	13
山都町役場	14



移住して5年
鳥越靖基さん
「家族構成」ご本人・奥様・お子様1人
「移住前のご住所」東京都文京区
岸千恵さん
「家族構成」ご本人・ご主人
「移住前のご住所」東京都文京区

地へ出向いて演奏活動をする日々を送った。ライフラインが止まっていたのでスムーズに食料調達することが出来た。来ない時もあり、「こんな時は全てが断たれるんだな、って。」自分たちでは何も作ってなかったし、親戚にも農家は無い。何もできないっていう実感を、本当に受けたんです。それで、音楽はやっぱりやってもらえなきゃ、ってなってる。「まずは自分たちが食べれる分だけ、何かあれば少し誰かに届けられるくら

いでもいいから」と、農業をやってみることを決意。東京を離れた。

一歩ずつ、前へ。

住む家と農地探しは簡単ではなかったが、探し始めて半年後に山都町で農家の空き家を借りれることになり、それから更に半年後に畑を借りることが出来た。最初は農業の経験がないので勝手が全く分からず、遠方に暮れることもあった。近所の方々に助けてもらったり、農業の勉強会に参加して、そこで仲間を作ったりして「一歩、前へ進んだ。」

「自給自足が出来れば」くらいにしか思っていなかったのが、やっていくうちに「これは仕事として成り立つんじゃないか」と確信を持つようになり、それから農業だけに専念。勉強会で学んだことを即実践し、有機JASも取得。



これからは、農業に興味のある若い人を支援する側になりたいと話す靖基さん。「ただ、移住は引越越しとは違う。土地を貸すにも、家を貸すにも、想いがある場所なので。先祖から受け継いで来た家や土地を、大事に守ってきた方々あつての町。そういう想いを大切にしてくれる人が、この山都町にたくさん来てくれると嬉しいなと思います。」

ここは、「想い」がある場所。



「来てみてからの価値観の違いは当たり前で、そこからの積み重ねが大事ななだと思います。その積み重ねで今があると感じています。」と語る、岸さん。

YASKI FARM へのお問い合わせ先

<https://www.facebook.com/torigoe.yasuki>

「想い」を胸に、音楽と有機野菜を奏でていきます。



国道445号線から入った山道を、どんどん北へ登って行くと、ぱっと目の前の景色が開け、阿蘇の広大な南外輪山が姿をみせた。つきぬけるような青空がよく似合う神々しいとも言えるほど雄大な風景の中に、まるで五線譜のように均整の取れた YASKI FARM の美しい畑が広がっていた。

YASKI FARM は、鳥越靖基さん万里子さんと夫妻と、岸千恵さんの3人で構成される音楽バンド「YASKI BAND」が営む農場。全部で3ヘクタールの畑と、50アールの田んぼをフル回転させて、ミネラル豊富な有機野菜やお米を育て、販売している。

東日本大震災で実感した想い。

東京都内でレコーディングスタジオの経営や、作曲、演奏などの音楽活動をして暮らしていた時、あの東日本大震災が起きた。多くの人が犠牲になり、無事だった人々も深く心を痛めた。そんな光景を目の当たりにした鳥越さんご夫妻と岸さんは、炊き出しをしたり、被災



山の景色が、幸せを導いてくれました。

移住して10年

石井 洋一さん・陽子さん
【家族構成】ご夫妻・お子様2人
【移住前のご住所】福岡県田川郡香春町



「もともと一人で旅に出るのが好きで、独身の頃はよく国内の島々を渡り歩いていました。屋久島に行った時、宮之浦岳という九州で一番高い山があって、初めて登山靴を買ってそこへ登りました。その時、山の魅力に取り憑かれて。いろいろな山に登るようになり、山が大好きになったと話す石井陽子さん。当時、福岡で歯科医院の勤務医をしていたご主人、洋一さんには、付き合いたてで最初の誕生日に登山靴をプレゼント。一緒に登山を楽しむようになった。その後、結婚し、子どもが出来て「育児は大変でしたが、登山は諦めなくなかった。だから子どもを背負子に背負って登っていました」と、アルパム

のページをめくりながら、懐かしそうに当時から振り返る。

山に囲まれていてここが、いいと即決

洋一さんが歯科医院を開業するため物件を探していた時、たまたま知り合いの歯科業者に山都町の物件を紹介された。見に行くと、周囲が山に囲まれていて、「二人とも「ここがいい」と即決でした（笑）」

子どもを自然の中で育てたいという思いはずっと持っていた。また洋一さんには、都会の競争社会の中で開業するよりも、患者さんの顔をみながらゆっくり地域医療に取り組みたいという思いもあった。

子どもとの時間に幸せを感じる

「家の周りを散歩していると、タマムシとかナナフシ、ミヤマクワガタなんかも、たくさんいたりして。子どもと一緒に山に親しむ感じで、日々の暮らしを楽しんでいます。不便じゃないです



「せいわ歯科クリニック」院長のご主人。休日は、登山やマラソン、釣りなど、山都の暮らしを満喫している。

か？と言われることもありすが、便利すぎてモノにあふれた都会が嫌でこつちにくたので、不便さは嫌だとは思いません。野菜や猪肉などのおす分けをよくいただくので、食材には困りませんし（笑）」

四季を感じる豊かな生活

冬は雪が数センチ積もることもありますが、子ども達はソリ遊びが楽しくてしかたない。夏は、エアコンなしでも涼しく過ごせる。

「震災があり、価値観が変わって来たと感じます。必要なものだけあればいいと思うようになりました。経済的に



クワガタやタマムシ、ナナフシなど希少な昆虫を日常で見かけることができるのも魅力のひとつ。写真は、石井さん宅内に飛び込んで来た、深山（みやま）クワガタ。

ということではなく、心が豊かになる生活をしていると思います。四季を感じられるというのもそうです。都会には土がありません。子どもには土を触りながら育ってほしい。そういう価値観を持った人が山都町に来ると、幸せがたくさん見つけれられると思います。」

阿蘇山が望める大きな窓から、ふんわりと心地よい風が吹き込んだ。



自然がいっぱいの緑の窓から、ふんわりと心地よい風が。薪ストーブやハンモックは、山都の暮らしに似合う。薪は近所の方から頂くことが多い。家の中を自由にのびのびと歩き回る愛猫のミミちゃん。（→）

山都町はどこにある?



最寄りの 空港

熊本空港
(阿蘇くまもと空港)
◎ 約35 km

自家用車で約50分
バスで約1時間30分
◎産交バス「特急たかほ号」

最寄りの 駅

熊本駅
◎ 約42 km

自家用車で約1時間
バスは熊本交通センターから乗り換え

最寄りの バスセンター

熊本交通センター
◎ 約41 km

自家用車で約1時間
バスで約1時間30分
◎熊本バス

最寄りの インターチェンジ

① 御船IC / 約30km 自家用車で約45分
② 松橋IC / 約36km 自家用車で約50分

※鉄道は運行していません。

※高速道路(九州中央自動車道)の整備

現在整備が進められており、供用開始が平成30年頃に見込まれています。

開通すれば、熊本、都市圏のみならず九州内各方面への移動時間の短縮が期待されます。

九州の ほぼ中央!



山都町は、熊本県の東部、九州のほぼ中央「九州のへそ」に位置しています。町の北部は阿蘇山、南部は九州脊梁の山々が連なり、これらを水源とする二つの主要河川が東西に流れ、起伏に富んだ独特の渓谷美を形成しています。滝や渓谷などの景勝地が多いことに加え、山や川などの自然を活かした名所やレクリエーション施設が数多く点在しており、ありのままの自然に触れ合える拠点として親しまれています。

山都町の気候(矢部試験地調べ)

● 平均日照 132時間/月
● 平均降水量 201mm/月
● 平均気温 年間 13.9℃/月
1月 1.8℃/月
8月 24.8℃/月



水路橋「通潤橋」によって潤いをもたらされている棚田。「通潤用水と白糸台地の棚田景観」は国の重要文化的景観に選定されています。

居住地域は標高3000m~9000mに位置しているため、夏は涼しい反面、冬は降雪もあり寒さが厳しい準高冷地です。平均気温も熊本市内の観測地と比較すると、各月において3~4℃程度低くなっています。

地形的な変化に富み、狭い耕作地など厳しい地理的条件ながら、先人の知恵と努力によって巧みに水を導き、農業を中心とした生活を営んでいます。特に有機栽培生産者が多く、有機農業発祥の地とも言われています。

地勢

気象

産業

山都町はどんな町?

自然に感謝し、お互いが支え合い、一人ひとりを大切にする心豊かな地域社会を築いている町です。

山都町の
子育て環境

山都町では、少子化・核家族化に対応し、安心して子どもを産み、育て、子どもが健やかに成長する地域社会を形成していくための環境の確保を進めています。また、平成29年度には公立保育園に子育て支援センター、病後児保育室を併設し、山都町の子育て支援の拠点となる統合保育園の開園を予定しております。多様な保育ニーズに対応する子育て支援を行い、子育ての不安や悩みに対する相談体制の充実を図ります。



保育園

役場健康福祉課 ☎0967-72-1229

公立保育園 7園

【受入年齢】 0歳～就学前
【開所時間】 7:30から18:30
又は19:00まで

◎延長保育可能 ◎給食あり
◎うち4園で一時間保育あり

私立保育園 5園

【受入年齢】 0歳～就学前
（※乳児園は0歳～3歳未満）
【開所時間】 7:00から19:00
（※乳児園は7:00から18:30）

◎バス送迎あり（※乳児園・普光はなし）
◎延長保育可能
◎給食あり ◎一時保育あり

へき地保育園 2園

【受入年齢】 2歳半～就学前
【開所時間】 8:30から17:00

×延長保育不可 ×給食なし
◎保育料 1人 月額4,000円
2人目以降3,500円

※詳細は、役場健康福祉課へお問合せいただくか、ホームページ（P14参照）をご覧ください。

子育て支援

役場健康福祉課 ☎0967-72-1229

山都町地域子育て支援センター
☎0967-72-1928

育児の不安・悩みなどの相談を受けつけたり、子育てサロンや子育て教室などを開催し、楽しい子育ての応援を行っています。

山都町つどいの広場
シャベル
☎0967-72-4118

子育て親子の交流の場を提供しています。おもちゃや絵本がいっぱいのスペースで自由に過ごすことができます。

山都町ファミリーサポートセンター
☎0967-72-1928

「子育ての手伝いをしてほしい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」との相互援助活動を行っています。

子ども医療費助成

新生児から18歳の年度末までの医療費助成を行っています。

出産祝い金

出生児の父または母に対し、出産祝い金を給付します。

身近なところで安心して医療を受けられるように、「かかりつけ医」の推進や医療体制の充実を進め、地域の実情に応じた適切な医療環境の確保を図っています。

医療機関

※診療時間など詳しくは、各医療機関にお尋ねください。

山都町包括医療センター
そよう病院
(救急告示病院)

内科、外科、小児科、消化器外科、循環器内科、整形外科
眼科、リハビリテーション科、呼吸器内科、小児外科
精神科、心療内科、歯科、歯科口腔外科

矢部広域病院

内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、外科、
肛門外科、整形外科、麻酔科

瀬戸病院

泌尿器科、眼科、消化器科、内科、外科、
リハビリテーション科

伴病院

内科、外科、婦人科、リハビリテーション科

山口医院

婦人科、内科、皮膚科、小児科

野田医院

内科、小児科、消化器科

高田整形外科
クリニック

整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

坂本クリニック

内科、小児科

せいわ歯科
クリニック

歯科
小児歯科

豊田歯科医院

歯科

野田歯科医院

一般歯科
小児歯科
口腔外科

浜町歯科医院

歯科
小児歯科
矯正歯科

どうのうえ歯科
クリニック

一般歯科

小児救急
電話相談
(全国同一事業)

小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか迷った時に、小児科医師・看護師へ電話による相談ができます。

相談方法 電話で【#80000】をプッシュすると熊本県の相談窓口へ転送されます。

相談時間 毎日夜間 午後7時～午前0時

注) 町内に「産科」はありません。近隣市町の最寄りの産科医については、役場健康福祉課健康づくり係（☎0967-72-1295）へお問い合わせください。

山都町の
医療環境

山都町にある熊本県立矢部高等学校は前身の矢部実業補習学校が開設して121年になる歴史ある学校です。地域の基幹産業である農林業を支える人材を育成し、長く農林学校としての伝統を培ってきました。現在も、農業や林業を学ぶ専門課程が設けられており、熊本県の農林業を支える人材を輩出しています。また、昭和23年の普通科設置後は進学指導にも力を注ぎ、これまでに小中学校や高校の教員をはじめとして、地域で活躍する人材を多数輩出してきました。



全学科1年生による田植え実習

矢部高等学校

教育委員会 ☎0967-72-0443

《矢部高校生・保護者への支援》

町では、矢部高校への進学奨励として、入学支度金及び教科書購入等について助成を行っています。また、下宿助成やバス通学助成も行っております。詳しくは山都町役場教育委員会までお問い合わせください。

◎矢部高等学校 熊本県上益城郡山都町城平954

食農科学科

食農科学科では野菜や草花の栽培をはじめ、農産物の食品製造などを行います。また、調理や被服の技術習得や保育、福祉の学習にも取り組んでいます。

緑科学科

緑科学科では林業の専門知識を学び、測量や木工技術、森林の管理などを行います。また、八朔祭の大造り物製作にも取り組んでいます。

普通科

普通科では高い学力や幅広い知識を身につけ大学・短大・専門学校進学や公務員などに進路選択が可能です。また、商業科目も学習でき簿記検定などの資格取得にも取り組んでいます。

矢部高等学校ホームページは、「矢部高校」で検索してください。

<http://sh.higo.ed.jp/yabesh>

小・中学校では、家庭や地域社会とともに子どもを育てていくという視点にたって、開かれた学校づくりを推進しています。特に、家庭や地域の人びとの協力をもとに、地域の歴史・文化、自然環境など身の回りの地域資源を活用した取り組みを推進し、学校の休みの日に学校体育施設を開放するなど、家庭や地域社会との連携を深めています。更に、子どもの健康を守る観点から、学校給食における地元農産物を活用した地産地消の推進を図り、農業の果たす役割を理解する学習にも取り組んでいます。



小学校・中学校

教育委員会 ☎0967-72-0443

《通学支援》

山都町は面積が広大なため、学校までの通学が遠距離となる地域もあります。遠距離通学となる児童や生徒には、スクールバスの利用、または通学に要する費用(自転車購入等)の助成も行っています。

※通学支援の対象になるかどうかは事前の確認が必要です。

小学校 7校

- ◎中島小学校 山都町北中島2333-1
- ◎矢部小学校 山都町下馬尾17
- ◎御岳小学校 山都町川野1543
- ◎潤徳小学校 山都町入佐264
- ◎清和小学校 山都町飯屋384
- ◎蘇陽小学校 山都町柏981-3
- ◎蘇陽南小学校 山都町馬見原165

中学校 3校

- ◎矢部中学校 山都町城平527
- ◎清和中学校 山都町大平410
- ◎蘇陽中学校 山都町今450-1



山都町役場

移住をご希望の方のご相談窓口 山の都創造課 ☎ 0967-72-1158

山都町の定住と移住を促進するために、町ではさまざまな支援事業を実施しています。また「**山都暮らし人交流サイト**」で、移住・定住に関する様々な情報を提供しています。

「**山都暮らし人**」で検索！ <http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/ijyuu/>

山都町短期滞在施設

町外から本町への移住を検討する方（移住希望者等）が、本町への移住に向けて必要な調査や準備を行ったり、町民や町内集落との交流を図る間に滞在することができる施設として貸し出しを行っています。

空き家改修・活用事業

増加する空き家の解消を図り、町内への移住・定住を推進するため、空き家を他の方に賃貸、売買する際の改修費用等の一部を補助しています。

店舗改修補助金

空き店舗の活用、起業家支援、既存店の利益向上を図るために店舗の改修工事を行われる方を支援します。



山都町役場ホームページ <http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/>

山の都地域しごとセンター

山の都地域しごとセンターでは、山都町への移住を考えている方や、既に山都町にお住まいの方にずっと住んでいただけるよう、様々な企画や支援を行っています。

空き家バンク制度

山都町にある空き家の調査を行い、移住希望者へ空き家情報の提供を行っています。また、町内の空き家所有者と移住希望者のマッチングも行っています。HPでは空き家物件の写真や間取りなども公開しています。

仕事情報の提供

地域が必要とする人材の育成や起業を考えている方をサポートすることで、地域のしごと作りを行っています。地元農家の方と農業研修の受け入れ体制作りや、インターンシップにも力を入れています。

山の都 地域しごとセンター HP（山都暮らし人交流サイト内）では山都町に移住された方へのインタビューを行っています。



株式会社まちづくりやべ企画事業部 事業課内 山の都地域しごとセンター
〒861-3518 熊本県上益城郡山都町浜町239-3
☎ 0967-72-1723 Fax 0967-72-1724
✉ tmoyabe-kikaku@salsa.ocn.ne.jp

Part 3 「山の都」を、もっと知りたい！
移住・定住のご相談お待ちしています。
お気軽にお問い合わせください。

先駆移住者の生の声も
随時公開しています！